

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限（2024年12月20日設定）
運 用 方 針	ゴールド／オール・カンントリー株式戦略（以下、「当戦略」といいます。）のパフォーマンスに連動する担保付社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	ＳＧイシュアーが発行する担保付社債を主要投資対象とします。 〈担保付社債について〉 ・ ソシエテ・ジェネラルの100％子会社であるＳＧイシュアーが発行する担保付社債です。 ・ ソシエテ・ジェネラルの保証が付されます。 ・ ゴールド／オール・カンントリー株式戦略を円評価したパフォーマンスに連動します。
組 入 制 限	担保付社債への投資割合は制限を設けません。 デリバティブの直接利用は行いません。投資対象とする担保付社債において、デリバティブ取引および外国為替予約取引は、当該投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
分 配 方 針	年1回（8月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

明治安田ゴールド／オール・カンントリー株式戦略ファンド

愛称：ゴルカン

運用報告書（全体版）

第 1 期

（決算日 2025年8月20日）

受益者のみなさまへ

平素は「明治安田ゴールド／オール・カンントリー株式戦略ファンド」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

◎設定以来の運用実績

決 算 期	(分配落)	基準価額		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率		
(設定日) 2024年12月20日	円	円	%	%	百万円
	10,000	—	—	—	578
(第1期) 2025年 8月20日	10,486	0	4.9	95.3	2,623

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドは、ゴールド／オール・カントリー株式戦略のパフォーマンスに連動する担保付社債を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

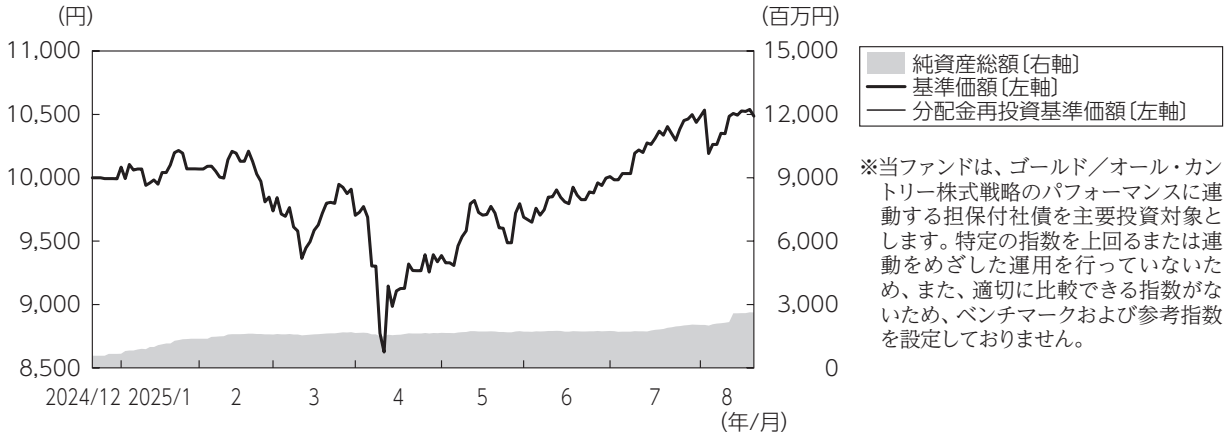
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債券組入比率
(設定日) 2024年12月20日	円	%	%
	10,000	—	—
12月末	10,083	0.8	96.3
2025年 1月末	10,069	0.7	90.2
2月末	9,738	△2.6	96.7
3月末	9,703	△3.0	97.1
4月末	9,385	△6.2	97.6
5月末	9,689	△3.1	97.4
6月末	10,009	0.1	99.3
7月末	10,483	4.8	95.1
(期 末) 2025年 8月20日	10,486	4.9	95.3

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは、ゴールド／オール・カントリー株式戦略のパフォーマンスに連動する担保付社債を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



設 定 日(2024年12月20日)：10,000円

第1期末(2025年 8月20日)：10,486円(既払分配金0円)

騰落率：4.9%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、ゴールド／オール・カンントリー株式戦略のパフォーマンスに連動する担保付社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

- ・世界の株式価格(米ドル建て)が上昇したこと
- ・金価格(米ドル建て)が上昇したこと

(下落要因)

- ・米ドルが日本円に対して下落したこと

■投資環境

当期の世界の株式相場は上昇しました。米国政権の関税政策が大きな材料となりました。2025年2月以降、A I（人工知能）分野における中国との競合懸念や、米国政権の関税政策をめぐる不透明感により、下落しました。その後持ち直したものの、4月には想定以上の関税案が発表され急落しました。その後、各国との通商交渉の進展への期待から株式市場は反発に転じ、上昇基調となりました。中東情勢の緊迫化により株価が調整される場面もありましたが、総じて堅調でした。投資家のリスクセンチメント（リスク選好）は短期的に急落することもありましたが総じて堅調に推移しました。

当期の金価格は、米国政権の政策に対する不透明感や中東情勢の緊迫化、さらに米国の財政赤字拡大や利下げ観測など、多様な要因が影響し、安全資産としての需要が一層高まったことで上昇しました。

当期の米ドルは、米国経済の不透明感を受けた米国の利下げ期待と日銀による利上げ観測の高まりを受け、期を通じて、円に対して下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

運用方針に基づき、ゴールド／オール・カンントリー株式戦略のパフォーマンスに連動する投資成果を目指す担保付社債の組入比率を高位に維持しました。

当期における株式と金のポジションの変遷は以下の通りとなりました。

当期のS Gセンチメント指標の判定によるポジションは、設定時から2025年2月にかけて「安定的」（世界株式80％、金20％）を維持していましたが、3月に入ると米国政権の関税政策がもたらす景気悪化懸念が強く意識され、「リスクオフ」（世界株式10％、金90％）に切り替わりました。その後、株式市場の安定化に伴いセンチメントが回復し「安定的」（世界株式80％、金20％）となりました。4月に入ると、相互関税の発表や中国の報復措置表明などから世界的な景気悪化懸念が高まり、「リスクオフ」に変更となりました。4月下旬になると、米国大統領が相互関税の一部を90日間延期したことが株式市場で好感され、「安定的」に切り替わりました。その後は、関税問題の進展、堅調な企業業績、欧米の利下げ期待、中東情勢などにより、「リスクオン」と「安定的」で推移しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ゴールド／オール・カントリー株式戦略のパフォーマンスに連動する担保付社債を主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■分配金

- ・収益分配については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案した結果、見送りとした。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・％、1万口当たり、税引前)

項 目	第1期
	(2024年12月20日～2025年8月20日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	485

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、ゴールド／オール・カントリー株式戦略のパフォーマンスに連動する投資成果を目指す担保付社債の組入比率を高位に維持します。

◎1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項目の概要
	(2024年12月20日～2025年8月20日)		
	金額	比率	
(a)信託報酬	68 円	0.684 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,894円です。
(投信会社)	(22)	(0.221)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、 法定書類等の作成等の対価
(販売会社)	(44)	(0.441)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのフ ァンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b)その他費用	1	0.010	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	69	0.694	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

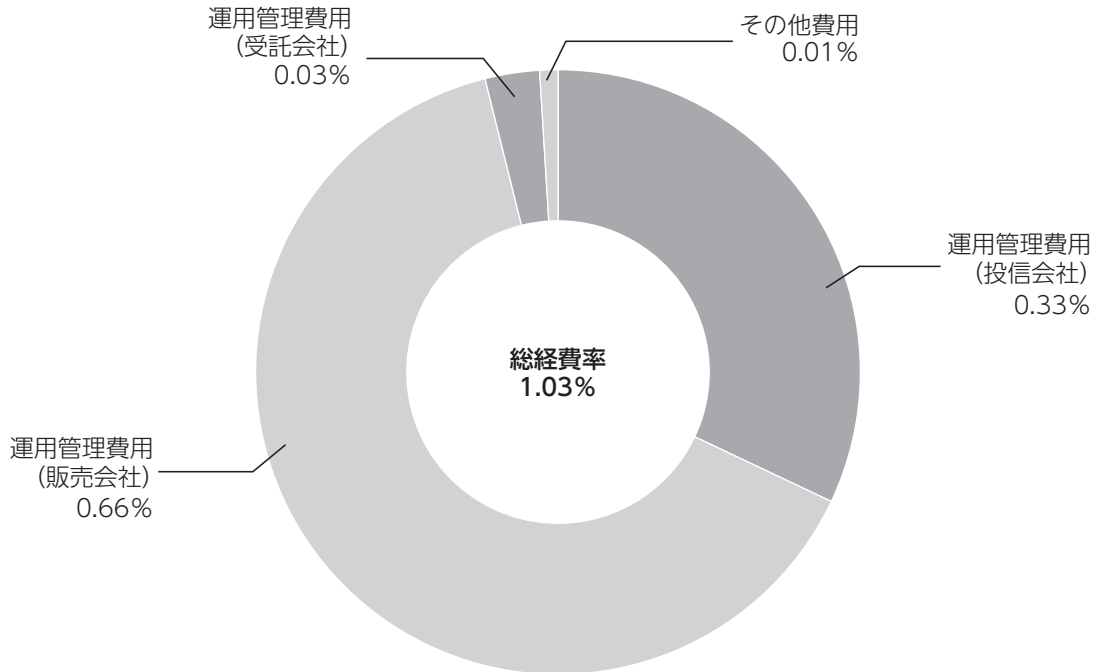
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.03%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買及び取引の状況（2024年12月20日～2025年8月20日）

○公社債

			買付額	売付額
外国	ルクセンブルグ	社債券（投資法人債券を含む）	千円 2,482,404	千円 81,123

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
(注2)単位未満は切り捨て。
(注3)社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等（2024年12月20日～2025年8月20日）

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○国内(邦貨建)公社債(種類別)

区分	当期				期末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
社債券(含む投資法人債券)	2,355,000	2,501,245	95.3	—	95.3	—	—
合計	2,355,000	2,501,245	95.3	—	95.3	—	—

(注1)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2)単位未満は切り捨て。
(注3)－印は組み入れなし。
(注4)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

当		期		末					
銘	柄	名	利	率	額面金額	評	価	額	償還年月日
(社債券(含む投資法人債券))			%		千円			千円	
ソシエテ・ジェネラルユーロ円債ゴールドオールカントリー株式			—		2,355,000	2,501,245			—
合					2,355,000	2,501,245			
計									

(注1)額面・評価額の単位未満は切り捨て。
(注2)上記のうち、償還年月日が「－」の場合は、永久債です。

◎投資信託財産の構成

2025年8月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,501,245	95.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	127,226	4.8
投 資 信 託 財 産 総 額	2,628,471	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年8月20日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	2,628,471,670円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	127,224,586
公 社 債 (評 価 額)	2,501,245,500
未 収 利 息	1,584
(B)負 債	5,132,958
未 払 解 約 金	1,715,666
未 払 信 託 報 酬	3,399,037
そ の 他 未 払 費 用	18,255
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	2,623,338,712
元 本	2,501,870,221
次 期 繰 越 損 益 金	121,468,491
(D)受 益 権 総 口 数	2,501,870,221口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,486円

(注1)当ファンドの設定元本額は578,573,441円、期中追加設定元本額は2,150,202,091円、期中一部解約元本額は226,905,311円です。

(注2)1口当たり純資産額は1,0486円です。

(注3)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注4)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5)損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6)計算期間末における費用控除後の配当等収益(279,288円)、費用控除後の有価証券等損益額(86,746,394円)、および信託約款に規定する収益調整金(34,442,809円)より分配対象収益は121,468,491円(10,000口当たり485円)ですが、当期に分配した金額はありません。

◎損益の状況

自 2024年12月20日

至 2025年 8月20日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	314,461円
受 取 利 息	314,461
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	97,702,647
売 買 益	103,216,466
売 買 損	△ 5,513,819
(C)信 託 報 酬 等	△ 10,991,426
(D)当期損益金 (A + B + C)	87,025,682
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	34,442,809
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,442,809)
(F)計 (D + E)	121,468,491
(G)収 益 分 配 金	0
次期繰越損益金 (F + G)	121,468,491
追 加 信 託 差 損 益 金	34,442,809
(売 買 損 益 相 当 額)	(34,442,809)
分 配 準 備 積 立 金	87,025,682

【お知らせ】

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に運用状況に係る情報の提供について所定の整備を行いました。(2025年4月16日)